

東京MXテレビ「ニュース女子」問題について

去年の1月2日に東京MXテレビは、DHC社の持ち込み番組である「ニュース女子」を放送。その中で沖縄の基地反対運動を特集したが、内容は現場の取材もせず「反対の人はテロリスト」「日当を貰っている」「機動隊に暴力をふるっている」「のりこえネットの辛淑玉さんが黒幕」「沖縄の人達は基地建設に賛成」等と、デマ・ヘイトで塗り固められた非常に悪質なものでした。

抗議行動を呼びかけた女性達に呼応して、1月12日に20名程の人が東京MX社前に集まり、マイクを持ち怒りをぶつけました。

その後、「沖縄への偏見をおおる放送をゆるさない市民有志」を立ち上げ、毎週(後に隔週)MX社前での抗議を続け計34回行いました。参加者は増え続け多い時は200人近い人が集まり、沖縄から駆け付けた方、著名人の方々やジャーナリストの方々も何回も参加してくださいました。

また、社前抗議のみならず記者会見、東京新聞社と面談(司会が論説副主幹の肩書を持つ長谷川幸洋氏だった為)、デモ(3回)、シンポジウム、地方局の調査、チラシ撒き等の行動を続けました。

早い段階で東京新聞社は去年2月2日に朝刊一面で長谷川幸洋氏の降格と謝罪文を掲載しました。素早い対応は評価に値するものでしたが、MX社と

DHC社は「放送内容は事実」と居直り、途中からMX社はガードマンを雇い面会要請に最後迄応じませんでした。また右翼(2~4名)が大音量のスピーカーで妨害をし、警察も全く静止しないという状況が何回もありました。

去年の12月14日にBPOが「重大な放送倫理違反があった」という意見書を出し、また「のりこえネット」の辛淑玉氏が申し立てをした名誉毀損に対し「名誉毀損があった」との真つ当な意見書が今年3月8日に出ました。(両方共全国紙掲載)

今年3月1日にMX社は「ニュース女子」の放送打ち切りを発表しましたが、訂正・謝罪の記者会見は行っておりません。DHC社は全く反省せず、これからも地方局への営業はしていくと発信しています。

「市民有志」は今年3月6日に記者会見を開き、東京MX社前の抗議行動を打ち切るが地方局への働きかけは引き続き行っていくことを発表しました。

以上が経過ですが今後の課題として、国家権力に抗い虐げられている人々に対しデマ・ヘイトを信じ或いはストレス解消で、攻撃を加える人を少しでも減らすよう、税金を全国民の生活を保障し安心して暮らせる為に使い、国民の命を尊び平和を望む政権を選ぶしかないと思います。(加藤富美子)

3.14「安保法制違憲訴訟」(さいたま) 第8回口頭弁論

女子大生が懸命に陳述 急に春めいた3月14日の午後、50名余りの参加者が浦和駅からデモをしながら地裁へ向かいました。ところが入口で突然荷物検査が行われ、裁判所の監視が厳しくなったのに驚きました。法廷では北澤弁護団長と佐々木弁護士の陳述があり、その後大学生の松本悠梨花さんが、お母さんと妹さんが傍聴席で見守る中で陳述を始めました。

祖父母らの戦争体験を聞きながら育った松本さんは、小学生の時東松山の平和資料館で空襲体験コーナーを見て、非常な恐ろしさを覚え体験どころではなかったとのこと。そして戦争は絶対嫌だ、平和が

いいと実感したそうです。「今、安保法制が施行されてしまい、日本が戦争に巻き込まれる危険が現実のものとなってしまった。自分たち若者はこれから長い人生を戦争におびえながら生きていくしかないのか。『憲法の番人』と呼ばれている司法に期待するしか道はないと思い原告になった」と述べると、思わず傍聴席から拍手が沸き起こりました。

勇気を出して原告になった松本さんに励まされ、年配者もがんばらねばと思えた一日でした。

今回は7月11日(水)午後3時~ 第9回口頭弁論 さいたま地裁 です。大勢の参加を願っています。(加藤富美子)

1.27「協働フェスタ」が開催されました

大声コンテストで小学生が「かくせんそうはんた〜い」 毎年、開催されている「協働フェスタ」が今年も1月27日に中央市民会館で開催され、越谷九条の会も参加しました。この催しは市内の各種団体、町内会、趣味のサークルなどが日常やっている活動を多くの人たちに展示や実演で紹介するもので、中央市民会館の全館、1階ホールから5階まで各階のほとんどの部屋を活用して絵画、写真などの展示やスポーツ吹き矢など色々の実演。劇場や音楽室では民謡や音楽など。前庭では特設ステージで歌や音楽、模擬店ではカレー、やきそば、コーヒーなど。多彩な内容が楽しめるのでこの日は子供連れなど大勢の参加者でにぎわいました。

その中で私たちの越谷九条の会は憲法九条を守ろうと「9円コーヒー」の由来を話しながらコーヒー販売、それに特設ステージのプログラムに入れてもらい「大声コンテスト」をやりました。ステージ上には「愛と平和と...を叫ぼう」と横断幕を掲げまし



たが、参加者には何を叫んでも良いと事前に説明しました。出演者は小学生から大人まで25人ほど。賞品は声の大きさ順で一等賞などの賞品、また発声内容も審査して特別賞も出しますと宣伝したためか「〇〇ちゃんだいすき〜」「しゅくだいへらせ〜」などに混ざって「かくせんそうはんた〜い」の小学生も。会場内の耐震車で市民に地震体験を勧めている消防隊員も出演「地震体験やってま〜す」と。私たちの活動に賛同してくれている人は「せんそうにいかないぞ〜」と。このように楽しみながら「憲法九条」を宣伝しました。(堀口剛男)

越谷九条の会ニュース

事務所 〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 1-11-35 吾山ビルII 3F 石河綜合法律事務所内
☎048-964-7511 FAX048-964-5280 郵便振替 00140-3-426889 越谷九条の会
URL <http://www.geocities.jp/koshigaya9jyo/> E-mail koshigaya9jyo@hotmail.co.jp



毎年いつも大好評! 「九条コーヒー」。「バリスタ」Yさんの手練の技。(協働フェスタ/4面にレポート)

改憲で問われる「信頼」

安藤 博

自由民主党が3月25日の党大会で決めることになっていた同党の改憲案のうち、九条については先送りになりました。戦力不保持を定めた九条2項を維持したうえで、九条にその二(「九条の二」)を新設して「前条(九条2項)の規定は、自衛の措置をとることを妨げるものではない」ことを謳い込み、そのための実力組織として自衛隊を明記するという改憲案が既に固まっています。つまり昨2017年5月3日の憲法記念日を機に安倍首相が提起した改憲案がそのまま改憲発議に向けて国会審議にかけられようとしているのですが、森友問題に関する公文書改竄で内閣支持率が急落したことで、いま「安倍改憲」を押し通すことは控えておくことにしたのでしょうか。

わたしたちは、安倍改憲案に強く反対してきました。それは、安倍改憲が九条を事実上破棄してしまうことに対してですが、それにもまして改憲を企てている者、安倍晋三氏とその一派の強権的政治体質を恐れるからです。違憲とされてきた集団的自衛権行使を違憲でないことにしてしまった2014年7月31日の閣議決定は、強権政治そのものです。ことに、この閣議決定に向けて強行された内閣法制局長官の首のすげ替えは、いかにも強引でえげつないやり方でした。

政権に批判的な発言をしていた前川喜平・前文科省次官が名古屋市の中学で行った講演内容を同省が調べた件は、治安維持法で政府の意に沿わぬ者を締め上げた軍事政権下の日本を思い出させます。25日の党大会で安倍首相は「結党以来の課題である憲法改正に取り組む時がきた」と訴えましたが、憲法を変えようとする者に対する「信頼」が同党内でも問題になっています。

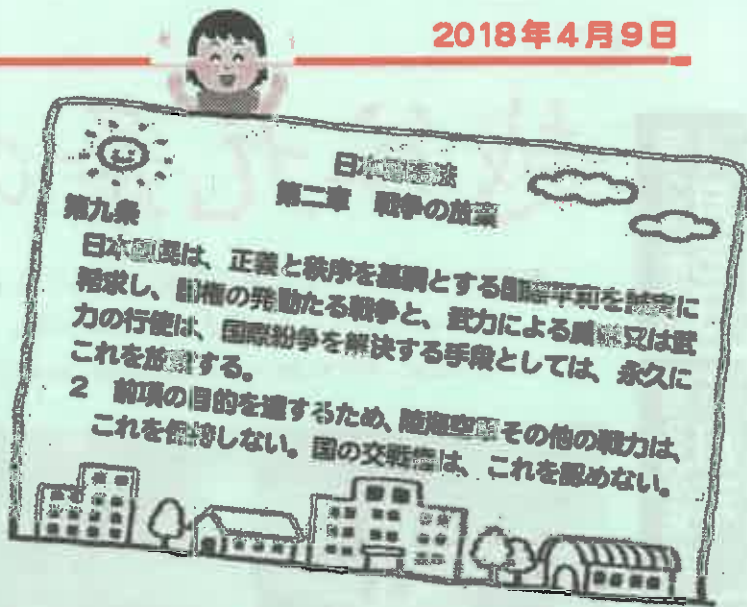
「信頼」そして共感を得ることが大切なのは、九条を護ろうとするわたしたちにとっても同じです。毎週土曜日夕刻、とげ抜き地蔵のある東京・山手線巣鴨の駅頭で行っている Olds の街宣活動に加わっていて、同じ仲間から言葉遣いをたしなめられました。「改憲の是非を決める国民投票の制度が、テレビなどを使った宣伝に無制限にカネを使うことを許す稀代の悪法に依っている、カネで改憲を買い取ら

第2次集約 4月25日 第3次集約 5月末 3000万署名!! 安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名 請願事項: ①憲法9条を改定しない ②憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現してください ③正しかけ団体 文部省改憲NO! 全国市民連合

沖縄連帯ツアー 6月10日 日にち...5月21日から23日の予定です。費用...5万3000円。申し込み...4月18日まで。連絡先:(04)89891320(田田) *現地では「抗議船」に乗ります。

れてしまう恐れがある、「公正な投票で決めよう」という改憲勢力の言葉に騙されてならない」と声を張り上げたことについてです。「稀代の悪法」はその通りだとしても、「騙されるな」は道行く人から「何も知らないバカ」と言うのか」と反感を買う恐れがあるというのです。

改憲発議がしにくくなるような世論をつくっていくことを目指す「3000万署名」も、結局は署名を求める自分自身に対する「信頼」が問われるのでしょ。そう思うと、ご近所、友人に署名をお願いしに行くのにも、身の引き締まる思いにならざるを得ません。



第14回 越谷九条の会総会のご案内

講演会があります

●日時：5月5日(土) 13:20 ~ 16:30

13:20 受付

14:00 講演会「九条改憲案のどこが問題か」

●講師 日本体育大学スポーツマネジメント学部(憲法学) 清水雅彦さん

15:40 総会

16:30 閉会

●会場：中央市民会館劇場

(越谷市役所向い)

どなたでも参加できます。
ぜひ足を運んでみてください。
お待ちしております。
入場無料です。



●清水雅彦さんプロフィール

1966年生まれ。現在、日本体育大学スポーツマネジメント学部教授。専門は憲法学。主たる研究テーマは平和主義・監視社会論。「憲法を変えて「戦争のボタン」を押しますか?」など著書多数。



活動報告 2018年1月~3月	
1・9	会報56号発行
	第161回運営委員会(石河綜合法律事務所)11人
1・27	協働フェスタ(中央市民前庭)
1・29	首都圏9条の会連絡会議(文京区民センター)70人
2・9	第162回運営委員会(石河綜合法律事務所)11人
2・17	オール越谷3000万署名集会(越谷駅前)100人164筆
2・21	越谷市議会に「改憲慎重審議要請」請願提出
2・26	2・26埼玉大集会中野見一氏講演(埼玉会館)1800人
3・7	首都圏9条の会連絡会議(文京区民センター)50人
3・8	第163回運営委員会(石河綜合法律事務所)5人
3・9	越谷市議会常任委員会請願審議3/7で否決
3・10	立憲民主主義で語る暮らしと政治パート5(中央市民劇場)120人
3・14	第8回違憲訴訟口頭弁論(さいたま地裁)60人
3・16	越谷市議会請願否決12/30
3・27	越谷駅前定例情宣

活動予定 2018年4月~6月	
4・7	9条の会3000万署名集会(北とびあ)14:00
4・9	会報57号発行 第164回運営委員会(石河綜合法律事務所)18:30
4・24	越谷駅前定例情宣 12:00
5・3	憲法集会(有明防災公園)11:00
5・5	9条の会第14回総会・講演会(中央市民劇場)
5・9	第165回運営委員会(石河綜合法律事務所)18:30
5・21	第4回9条の会汁縄ツアー
6・3	オール埼玉大集会(北浦和公園)10:00
6・9	第166回運営委員会(石河綜合法律事務所)18:30
6・26	越谷駅前定例情宣 12:00



オール越谷で 安倍改憲署名

3万4002筆

(3月22日現在)

5目標 万筆

会員は必ず署名をして下さい。

報告

「野党共闘のこれからと市民参加」シンポジウム

オール越谷市民アクション —— 立憲民主主義を語る暮らしと政治パート5

オープニングセレモニーに、弥栄ソーランチームの子ども達が登場。3曲踊ってくれた。毎週土曜日に練習しているという。素晴らしいエネルギー。この子たちのためにも、日本を戦争をする国にはいけないと思った。

フィフクロのパフォーマンスもとても面白かった。

石河代表は「政治に参加しない思いを破り、関わらざるを得ない時代になっている。野党共闘のこれからの期待したい」とあいさつ。

白川氏の見事なコーディネートでシンポが進行。希望の党小川議員は「希望の党があんな風になるとは思いもしなかった。絶望の気分。しかし、今、新たに、私たちも生まれかわる努力をしている」と発言。北條氏は「何年かかかるだろうが真に政権をになえる政党に野党がなっていくべき。共産党とは何でも一緒とはいかない」。それを受けて梅村議員は「衆院選前に市民と野党合意が成立、野党はそれが共闘の基本で、政策的に統一できる」と。辻さん、高松さんは「市民は野党共闘を望んでいる。政治をもっと身近に感じられるように、私たちも憲法カフェなどにとりくんでいるが、野党の努力ももっと必要」。

実際森友問題では、国会内での6野党共闘はきちんと生まれ、追及できている。しかし、まだまだ微妙な違いはあるようで、今後もこうしたシンポは続けていきたい。パネラーの5氏はともに「こうした市民と野党が一堂に会し、率直な討論をできるという事は素晴らしい」と述べてくれた。

(山田智之)



「コスタリカの奇跡」再上映!

午前中に「オキュパイ・ラブ」上映もあります。

●日時：4月30日(月)

10:30~12:00『オキュパイ・ラブ』

13:00~14:30『コスタリカの奇跡』

※各回上映後に対話会があります。

●場所：越谷市中央市民会館3階 集会室

●参加費：各回一般1,000円 障がい者手帳をお持ちの方500円 ※各回定員35名、要予約

●共催：トランジションタウン越谷・サステナの会

●後援：越谷九条の会

●お問合せ：080-1551-5125 (延与)



「越谷九条の会」趣意

- ①政党・宗教を持ち込まない
- ②個人で参加する
- ③誰でも参加できる(住所不問)
- ④決定は権力全員一致
- ⑤個人情報以外の目的に使わない
- ⑥会費なし、カンパで運営

賛同者
914人
(2018.4現在)

会計報告 (2018.1~3)

収入の部		支出の部	
収入の部		ニュース印刷代	1,160
繰越金	331,668	ニュース発送代	17,348
カンパ	37,000	市民意見広告費	4,080
		協同フェスタ関連費	15,234
		備品代	5,458
合計	368,668	合計	43,278
		差引残高(繰越金)	325,390

「コスタリカの奇跡」コスタリカは1948年に軍隊を廃止。軍事予算を社会福祉に充て、国民の幸福度を最大化する道を選んだ「コスタリカの奇跡」に迫ったドキュメンタリー。「オキュパイ・ラブ」エジプトの市民革命、スペインの大衆反乱。そして「ニューヨークのオキュパイ・ウォール・ストリート」運動など、世界各地で急速に起こりはじめた社会変革を「オキュパイ・ラブ」は、芽生え始めた公共の愛の探求をしながら鮮明に描き出していきます。